



聖書 Q & A

2020年12月7日
恵比寿マンディ

Q.質問 万人祭司とはどういう意味ですか。それは聖書的な教えですか。

A:回答 万人祭司は、キリスト教の神学用語で、宗教改革によって回復された真理の一つです。

万人祭司説について、次に説明します。

1. 旧約時代には祭司制度がありました。

(1) 祭司の役割

祭司は、民のために民に代わって神に仕え、祭儀を行う公職であり、神と人との仲立ちの役目を持っていました。

(2) 祭司の任命

祭司は神によって任命されました。レビ族の中のアロンの家系の者たちが祭司としての任命を受けました。

(3) 祭司の任務

①主の前にある聖所と祭壇に仕えること。②神の律法を民に教えること。

③訴えを聞くこと。④戦争時には角笛を吹き鳴らし、契約の箱を担ぐこと。

種々のいけにえを神に捧げました。

しかし、レビ系の祭司職は、永遠に続くものではありませんでした。それは、イエス・キリストを示す予型に過ぎなかったのです。

2. イエスの死によって祭司制度は破棄されました。

(1) イエスが十字架上で死んだ瞬間、神殿の聖所と至聖所を分けていた垂れ幕が、上から下に裂けました。

(2) それまでは、垂れ幕の奥にある至聖所に入ることができたのは、大祭司だけでした。しかも、年に一度しか入れませんでした。

(3) 神殿の垂れ幕が裂けたということは、すべての信者が真の大祭司であるイエス・キリストを通して、神の臨在の前に出ることができるようになったということです。

新約時代においては、地上的な祭司は必要ではなくなりました。

3. 聖書はすべての信者は祭司であると教えています。

ペテロの手紙第一2章5節には、こうあります。

**あなたがた自身も生ける石として、霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる
霊のいけにえをイエス・キリストを通して捧げる、聖なる祭司となります。**

(1) 信者には、特権が与えられています。それは、イエス・キリストを通して大胆に神の御前に出ることができるといふ特権です。

(2) また、責務が与えられています。それは、生き方を通し、言葉を通して、神に喜ばれる霊のいけにえを捧げるということです。

(3) もう一つ忘れてはならないことがあります。(これは、特権であると同時に責務でもあります) 信者には、自分で聖書を読み、解釈する権利があるということです。聖書を解釈する特権は、特定の教会や教派に属しているのではなく、信者各人に与えられています。それゆえ、聖書研究によって神の御心を知ることが極めて重要なのです。

出典: <<3分でわかる! 聖書 190「万人祭司とはどういう意味ですか。」>>